科目ナンバリング	U-LAS01 10006 LJ38						
授業科目名 <英訳>	東洋史II Oriental History II			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授　辻　正博		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	歴史・文明(基礎)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・後期	曜時限	月2/月3	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

「中国史の舞台装置」
　人類の歴史は、自然環境と人造物（人間が作り上げてきた造形物）とを「舞台装置」として形成されてきた。この講義では、中国史の舞台装置となってきたものをいくつか取り上げ、それらが歴史の展開にどのような影響を及ぼしてきたのかについて論じる。講義を通じて、人類と自然との関わりの歴史について理解を深めてほしい。

[到達目標]

　自然・風土・人造物が歴史の展開にどのような影響を与えたかを理解する。それによって、歴史に対する複眼的な視点を獲得する。

[授業計画と内容]

基本的に以下のプランに従って講義を進める。但し、状況に応じて内容を適宜変更することがある。なお、第1回を「ガイダンス」にあて、講義のねらいと概要について説明を行う。第2回以降は、以下のテーマについて講義を行う。
第2回　河川と中国史（１）―黄河
第3回　河川と中国史（２）―長江
第4回　河川と中国史（３）―淮水
第5回　名山と中国史（１）―泰山
第6回　名山と中国史（２）―南岳と北岳
第7回　大運河と中国史（１）―煬帝の大運河
第8回　大運河と中国史（２）―クビライの大運河
第9回　長城と中国史
第10回　関所と中国史―函谷関と潼関
第11回　都城と中国史（１）―長安と北京
第13回　都城と中国史（２）―洛陽
第14回　まとめ
《期末試験（レポート）》
第15回　フィードバック

[履修要件]

本講義は、同一内容のものを週２回開講するので、いずれか１つのみを履修登録すること

[成績評価の方法・観点]

平常点（課題・クイズの成績および出席状況等。50%）および期末試験（レポート試験）の成績（50%）

東洋史II(2)へ続く↓↓↓

東洋史II(2)

[教科書]

本学の学習支援システム等を通じて、講義資料を配布する。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

ＰａｎｄＡを通じて配布される講義資料を、事前にダウンロード・印刷して読み込んでおくことを強くお勧めします。

[その他（オフィスアワー等）]

文系・理系を問わず、向学心に溢れた皆さんの聴講を歓迎します。

[主要授業科目（学部・学科名）]

総合人間学部、総合人間学部